

第56期における石金精機

あるという声が多くあった一方、各メー 中で、いずれも現状は厳しい受注状況で

(第32回日本国際工作機械見本市)に参加

月初旬に開催された、JIM

T O F

た際、出展者や来場者との情報交換の

カーさん共にWFE市場の回復に合わせ

との認識が大多数であるということを確

て、工作機械需要も回復していくのでは?

は、当初の予測よりも徐々に遅れてきて と感じています。WFE市場の需要回 待できると考えています。 間違いなく、今期は前期以上の受注が期 いて期待が持てる、好ましい状況である 体製造装置(WFE)市場の需要回復にお いる状況ですが、回復基調にあることは 今期は前年の状況と比較すると、半導

考えています。 げて取り組むべき重点テーマを「半導体で FE市場の成長性を鑑み、今期全社を挙 拡大すると予想されています。今後のW こぼしのないように対応して頂きたいと 販に取り組み、また生産増に対して取り の受注拡大」と定めました。営業部におい スの需要の高まりにより、WFE市場が ロニクスなどで使用される半導体デバイ マートフォン・タブレット・自動車エレクト ては、更なる新規部品の受注など一層の拡 既に皆さんへお伝えしている通り、ス

がスタートした成長支援制度を丁寧に活 業部の働きによる受注増はもちろん、製 標達成の分岐点になると捉えています。営 生産体制の構築、また今期から本格運用 働や部分的な交替勤務の実施など柔軟な 造部においても自働化システムの本格稼 し、社員の技術向上による製造体制を また、半導体での売上高は今期売上目



代表取締役

清水 克洋

半導体分野の

回復による影

受注へとつなげるための営業活動を行っ 導体同様に機会を逃すことなく、確実な 好機であり、重点テーマとして定めた半 認できました。 てもらいたいと願います。 当社としても工作機械の回復は大きな

思っています。 界的な航空需要増に端を発する新規就航 実な生産を行い、需要に応えていきたいと まれます。不良発生を極力抑え、粛々と確 や増便による航空機部品の受注増が見込 造再開や、コロナ禍以前の水準を超える世 長期間にわたるストライキ終結による製 います。ボーイング社における9月からの その他、 航空機の需要増も予測されて

焦点を絞り、 全社で取り組む重点テー

待されますが、待ちの姿勢ではなく、 てきました。需要回復による受注増が期 ようやく回復に向けた兆しが明確に見え 長く低迷した状態が続いていましたが、 ます。 強化し、受注増に備えて頂きたいと思い

ています。 丸となり、取り組んでもらいたいと考え でも多くの受注を獲得するために全社

法を実行してもらいたいと思います。 大の効果を得られるようなアプローチ方 高いところを最優先し、少ない負担で最 客からの広がりなど、的確かつ確実性の 際には闇雲に当たるのではなく、既存顧 きな課題となっています。営業活動を行う その一方で、社内における人手不足は大

お願いします。 加頂くことを求めていきます。よろしく の浸透、社員の皆さんのモチベーション 談が行われているかと思います。経営理念 各部、各課において部長、課長との定期面 きますので、社員の皆さんも積極的に参 社としても優先度を上げて取り組んでい アップなどの制度の目的達成に向けて会 援制度の本格運用がスタート致しました 最後に、先述した通り今期より成長支



民間航空機に関する市場予測 2024-2043 -般財団法人 日本航空機開発協会

製造部

生産統括部



生産本部 金尾本部長

55期の取り組みを振り返って

へいいで、「なった」では、「別しいで、この時にはないない。合せを繰り返し、お客様の急な納期にも対応してきました。プロジェクトでは、稼働時の問題解決に向けメーカーとの細かい打をの他、若手中心で取り組んでいる共働ロボットによる無人加工

迷惑をおかけし、大変申し訳なく思っています。発生しました。お客様には手直しや再制作で納期及び品質面でごしかしながら、クレーム件数が前期に比べ1.乃倍と非常に多く

56期 部門目標

5期の取り組みを振り返って



生産統括部 臼澤部長

ることができました。画に反映する仕組みを回す事によって、目標を達成し、55期を終えを定めた上で、受注状況やフォーキャストを踏まえた適切な生産計た。在庫削減に関しては、重点製品を定め、保有しても良い在庫量前期は納期遵守率の向上を図りつつ、在庫削減に取り組みまし

力いただいた結果だと感謝しています。 成することができました。営業課をはじめ、製造部や関係各所に協た。若干のドタバタはありましたが、納期遵守率は目標の85%を達にも注視しつつ、営業課との連携を図りながら生産指示を行いましイミングに在庫切れによる納期遅延を発生させないよう市場動向納期遵守については、在庫削減を図る中、半導体需要の回復のタ

56期 部門目標

いう企業風土を醸成していきたいと考えています。

す。関係者の力を合わせ、回答した納期に責任を持ち、遵守すると
謝の気持ちを持ち、これまで以上に密に情報提供等を行っていきま検討していきます。また、仕入先や協力工場に対しても、誠意と感
産計画に関しては、「一定の期間、生産計画を固定する」取り組みを 安定生産及び生産の効率化に向けた施策を推進していきます。生 今期も引き続き納期対応と在庫の適正化を重点テーマとして、

存です。 様々な取り組みを進め、今期も目標必達を目指し邁進していく所様々な取り組みを進め、今期も目標必達を目指し邁進していく所示におけるミスの削減や、複数購買化による調達のリスクヘッジ等、向に注視していきます。また、安定生産体制の構築のため、生産指しては、回復基調にあることから、営業課との連携をより強化し動今期の納期遵守率は90%を目標とします。特に半導体分野に関

5期の取り組みを振り返って



営業部 前田部長

の管理の見直しから始めました。う課題を抱えている営業員が多く、部内での役割分担や行動予定は期中からでしたが、工数不足により、お客様訪問が出来ないといに対して約9割程度の達成度となりました。営業部としての活動で注に関して、半導体需要の回復の遅れを挽回出来ず、売上目標

所はそのままに、変わるべき所は適切に変化し、対応していきたい組んでいきます。市場の動向や顧客ニーズ等、変化が激しい中、良い培ってきた信頼関係を、より良い関係性へと発展出来るように取り

10/12(土)に立山グリーンパーク吉峰にて、社員の交流促進を目的として社員懇親会を開催しました。

を創出するための方法を模索しつつ取り組んでいきます。

新任の営業部長ではありますが、これまで石金精機がお客様と

なく、従来の成功事例の横展開や、同業他社との連携、材料メー

新規開拓に積極的に取り組みます。ただし、闇雲に当たるのでは

?ーとの協業といったテーマを定め、限られた人員で効果的に成果

することで、お客様の要望を正確に汲み取り、見積回答を迅速に行

10月より組織を刷新し、営業部内で工程設計や原価試算を対応

計画を立てました。達成に向けて次の事を心掛けます。

おり、半導体分野からの受注を基盤に、前期計画対比、約2割増の

今期は半導体分野で前期末からの回復基調の継続が予想されて

56 期

部門目標

っことで受注機会損失の撲滅を図ります。

当日は天候にも恵まれ、従業員とその家族も含めて総勢40名程度でBBQを行いました。コロナ禍により2019年以来の開催でしたが、立山町のnikuedenの豪華なお肉もあり、とても賑やかな会になりました。



∖ 石金ニュース!

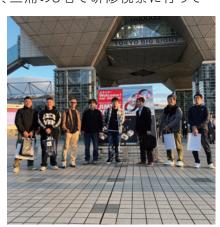
JIMTOF 2024 研修視察報告

研修視察について、三浦課長にお伺いしました。

11/5(火)から11/10(日)の計6日間東京ビッグサイトにて開催された、JIMTOF2024に11/9(土)、11/10(日)の2日間、白川課長、中河課長、沢村課長、北村BL、ヒェウBL、コアさん、ホアンさん、三浦の8名で研修視察に行ってきました。

ロボットや自動化の展示が多く、昨今のトレンドを感じました。また、自動盤の展示や汎用旋盤の実演展示なども興味の実演展でないがありました。

次回、2026年の開催時にも研修視察があれば、また学ばせてもらいたいと思います。



視察メンバーの会場での1枚

仕事をする上で大切にしていること



生産管理課 梅原BL

次号のバトン

次回はAPS北村BLにお願い したいと思います。 仕事も趣味も様々なこだわ りがありそうなのでぜひ聞 いてみたいと思います。



ているなあと感心しています。

事に驚きました。今でも難しいことをし

全行程が1枚の図面だけで進んでいく 量産現場に長く勤めていた私にとって、

こて7年が経ちました。同じ製造業でも 転職を何度か経験し、石金精機に入社

半年間の成長を振り返る

遅れているものがあった場合、仕分け作業を中断して、その品物だけを優先して をしています。普段意識していることは、しっかりと伝達する事です。短納期品や

日程管理BKで主に入荷した材料や加工品を仕分けて次工程に運搬する仕

持って行くのですが、必ずその工程の課長か担当者に手渡しするようにしていま

置いてくるだけだと気づかずに暫く放置となり、それが致命傷になり納期遅

延といった事になりかねないからです。

くお願いします。

様々な経験から感じること

赤色の付箋を貼るなどして目立つようにしていますので皆さまご対応をよろし

最近では前倒し要請があった場合は、現場で対象品の工作カードを探しだして

4月の入社から約半年が経過した、江尻さんと大上さんにお伺いしました。

①半年間を振り返っての感想

(大上さん)

あっという間の半年間でした。現場での研修も、配属が決定 してからも毎日新しいことだらけで、まだまだ慣れないことばか りで先輩方に教えてもらってばかりです。

(江尻さん)

現在は製造2課でマシニングを担当しています。研修ではマ シニングを経験していないので、一から学んでいる最中です。



大上さん

江尻さん

②この半年間で経験したこと

(大上さん)

6月までは現場での研修でしたが、7月からは総務課の配 属となりました。様々な業務を経験し、総務の仕事の流れにつ いて少しずつ理解できるようになってきました。

(江尻さん)

配属が決まってからの仕事の中にも、測定など研修で教え ていただいたことが活かせる機会があり、知識が身に着いた ことを嬉しく感じます。

③今後の抱負

(大上さん)

まだ何か1つ行動するにしても確認や自分一人では出来な いことばかりです。一つひとつ学んで、頼まれる、依頼される前 に自ら考えて動けるようになりたいと思っています。

(江尻さん)

まずは図面通り、交差の範囲内に収められるように精度を高 めていきたいです。同時にスピードも追及し、納期意識をもって 仕事に取り組んでいきたいです。